

令和5年9月16日（土） 2時間目
4年2組 東 依都
算数「およその数の使い方と表し方を調べよう」

【本日のねらい（目標）】
四捨五入の意味とその方法を理解することができる。

【読解力向上の視点】

日常の事象において、数の処理の仕方に着目し、四捨五入の意味やその方法を数直線や図、言葉を用いて説明することができるようになる。

【読解力向上ポイント①】

四捨五入の意味やその方法を数直線や図、言葉などを用いて考える。

【読解力向上ポイント②】

概数の表し方について、自分の言葉でわかりやすく説明する。

【この授業を通して子どもたちにつけていきたい力（担任からのメッセージ！）】

概数の概念を用いて「四捨五入」の仕組みやよさに気付く授業です。四捨五入という言葉は、生活になじみがあるため、聞いたことがある児童もいると考えられますが、形式的な処理にとどまっている児童も多いです。

そのため、概数を用いると数の大きさがとらえやすくなることや、物事の判断や処理が容易になること、見通しを立てやすくなることなどのよさに気づき、目的に応じて自ら概数で事象を把握しようとする力を子どもたちにつけてほしいと考え、授業を計画しました。